

石神第一八次調査出土木簡（現地説明会資料）

(A) 南北溝SD四〇九〇

①・己卯年八月十七日白奉経

観世音経十巻記白也 長さ(25)mm・幅(25)mm・厚さ(2)mm 〇二型式

完形の文書木簡。訓読について、次の三案を示しておく。

A 「己卯年八月十七日白(も)す、奉(つかえま)る経は、観世音経十巻を記すと白(も)うすなり。」

◎「己卯年八月十七日以下のことを御報告いたします。整えることを承りました経について、観世音経十巻を記したと申しております、とのことです。」

B 「己卯年八月十七日、白(も)うし奉(たてまつ)る経のこと。観世音経十巻、記し白(も)うすなり。」

◎「己卯年八月十七日、経に関する事柄を御報告いたします。観世音経十巻(を)を転読・書写したことを、木簡に記して御報告申し上げます。」

C 「己卯年八月十七日白(も)す、奉(たてまつ)る経の観世音経十巻を記し白(も)うすなり。」

◎「己卯年八月十七日に御報告いたします。観世音経十巻をお納めいたしましたことを(この木簡に)記し申し上げます。」

「己卯年」は天武八年(六七九)。「観世音経」は『法華経』のうち第二十五の観世音菩薩普門品が独立した一巻本である。飛鳥池遺跡北地区の天武朝前半頃の木簡(参考資料1)、飛鳥京跡第一〇四次調査出土の天武十年頃と推定される削屑にもでてくる(参考資料2)。また朱鳥元年(六八六)には、天武天皇不予のため、大官大寺や宮中で観世音経が読まれている(『日本書紀』朱鳥元年七月是月条・八月庚午条)。

今回の調査で「寺」と墨書された土器が出土しており、過去におこなわれた石神遺跡第十五次・十六次調査でも「法師大だ」、「大徳世/□□□□」、「□□念念念応心□□寺寺寺寺」、「善善善善善善意/□敬敬□非□□」、「蓮花之□/所説之尊」、など仏教関係の語句を記した木簡が出土している。

①木簡の内容から、石神遺跡近辺に貴族・皇族の邸宅が置かれ、観世音経の書写・転読などを依頼していた可能性があるが、詳細は今後の課題である。

② 伊 大野連 小力  
葉 (原 各力)  
連(力)

「百/古真頭」

長さ(25)mm・幅(25)mm・厚さ(2)mm 〇二型式

表面が木簡本来の記載で、記録簿のようにみえるが、詳細は不明。裏面は左右を二次的に割截した後に記す。「庚寅年」は持統四年(六九〇)。

③ 月廿日 (費力)

長さ(25)mm・幅(25)mm・厚さ(2)mm 〇二型式

「費」は下半部が欠損する。荷札木簡ではなからう。

④ 人八合 (人四合力)

長さ(25)mm・幅(25)mm・厚さ(2)mm 〇二型式

食料支給に関わる帳簿木簡の断片か。

(B) 南北溝SD一三三七

⑤・尾治ア

・若麻績ア

長さ(25)mm・幅(25)mm・厚さ(2)mm 〇三型式

上端折れ。部姓を列挙した木簡の一部であろう。部姓列挙の木簡は、石神遺跡第十六次調査でも出土している。「若麻績ア」はワカオミベ。

⑥ 〔丙戌カ〕  
年二月四

〔散カ〕  
〔カ〕〔カ〕〔カ〕〔カ〕

長さ180㎜・幅35㎜・厚さ5㎜ 011型式

表面を記載した後、下端は二次的に切断し、裏側を面取りする。年紀部分は損傷するが、残画をもとに釈読した。「丙戌年」は朱鳥元年（六八〇）。裏面は習書の類であろうか。

⑦ 病弥以

〔カ〕〔カ〕〔カ〕〔カ〕

長さ119㎜・幅18㎜・厚さ4㎜ 019型式

文書木簡の断片。「病いよいよ以て……」と釈読できる。裏面は文字が右端に寄っており、整形前の記載である。

⑧ 原五十戸

長さ150㎜・幅35㎜・厚さ5㎜ 016型式

小形の荷札木簡。「原五十戸」と書かれた木簡は、石神遺跡第十五・十六次調査でも二点出土している。そのうちの一点には「…道詳原五十戸」とみえ、備前国上道郡・備中国下道郡のいずれかに相当する可能性がある。「五十戸」は「里」の古い表記で、基本的に天武十年（六八二）以前に用いられた。本溝からは他にも「五十戸」制下の木簡が出土している。

⑨ 五戸小長

〔散カ〕  
古

長さ115㎜・幅32㎜・厚さ5㎜ 015型式

荷札木簡の断片。「五戸」は五保ともいい、相互扶助・検査組織として機能した。裏面一文字目は「貝」のみしか残存しないが、五戸からの貢進

であることから、「贊」と釈読した。これまで知られている五戸からの貢進物は春米と贊である。石神遺跡第十五・十六次調査でも贊の荷札木簡が三点出土している。③も荷札木簡ではなさそうであるが「贊」の語がみえる。「小長浴ア」は小長谷部のこと。「古」は「籠」（カゴ）に同じである。

⑩ 奈貴下黄布五連

長さ220㎜・幅24㎜・厚さ3㎜ 012型式

完形の荷札木簡もしくは物品付札。「奈貴下」は地名であろうが、比定地は不明。「黄布」は水産物の可能性が高いが、詳細は不明。「連」は紐などで一括りにした物品のまとまりを数える単位として使われる。

⑪ 和軍布十五斤

長さ153㎜・幅27㎜・厚さ4㎜ 011型式

完形の荷札木簡もしくは物品付札。「和軍布」は「尔支米」とも書き、ワカメのことである。「斤」は大斤・小斤の二種類があるが、ここでは小斤であろう。一斤約二二三グラム。一大斤二小斤。

⑫ 海ア奈々古

長さ120㎜・幅22㎜・厚さ4㎜ 012型式

完形の荷札木簡。人名のみを記す。「奈々古」はナナコ。

（参考資料1）飛鳥池遺跡北地区出土木簡

・ 観世音経卷

・ 支（照カ）

・ 子（照カ） 学 照而為（左側面） 是是

長さ150㎜・幅21㎜・厚さ20㎜ 011型式

（参考資料2）飛鳥京跡第一〇四次調査出土木簡

・ 観世音

011型式

※今回の現説資料は調査途中段階の仮のもので、今後の検討により変更が加えられる場合がありますので、ご注意ください。  
二〇〇六年三月一日